

114
A2812

照
一
枚

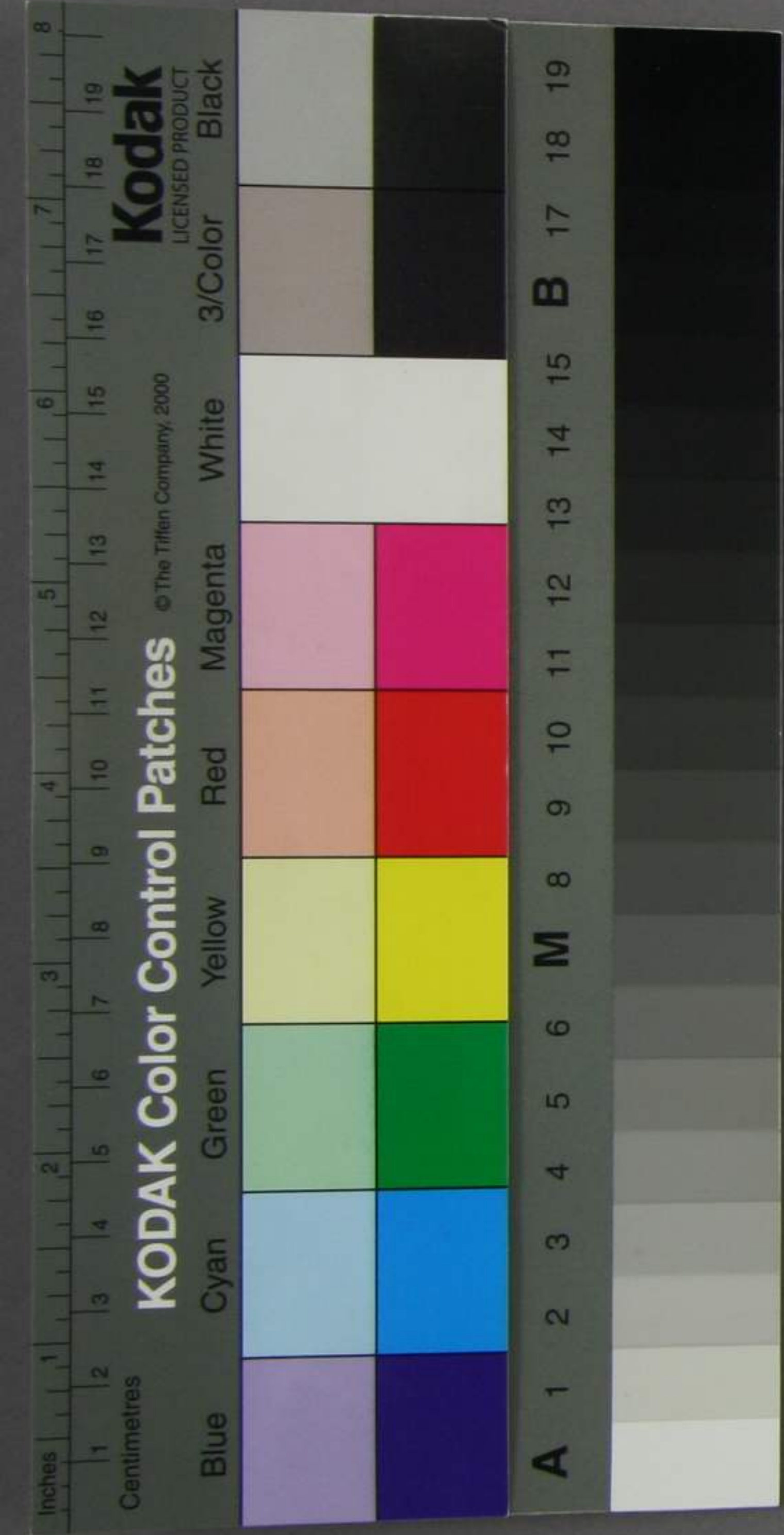


此追加茶款第一節

ノ日ヨリ似國人民ノ日本ニ在レモノハ其國ニ
在留フル交際官負ノ署名捺印シタル身分證書
ト云ニ願書ヲ日本政府ニ出シ居住又ハ農工商
其他ノ諸營業ノ為メニ其國內ノ諸港及ヒ許可状
方ニ至ルヲ乞フトキハ日本政府ハ之ニ許可状
ヲ付與シ其自由ヲ得セシムベシ而シテ其國民
ト均シク身体及ヒ所有物ニ関スル權利及特權
ヲ享有シ充分ナル保護ヲ得ベシ
然レ右ノ自由特權ヲ享有スルモノハ必ス日
政府ニ於テ隨時制定スル民法刑法其他諸布告
及ヒ慣習ニ服從シ其審判ヲ受クベキヲ此ニ確

大
正
十
一
年
四
月

1134



定ス

第二條

前條ニ依リ日本國ハ一往來居住シ得ル所ノ伊
 國人民ハ自カラ其職業ヲ處辨シ又ハ右特權ヲ
 有スル伊國人民或ハ日本人民ヲ撰ンテ其事ヲ
 代ニセシムルヲ得ベシ而シテ又自用ノ物品及
 高品ヲ輸出若シクハ輸入シ之ヲ賣買貿易シ
 其價額ヲ定ムル等總テ自由タルベシ但シ其事
 ニ關スル日本國ノ法律及慣習ニ服從スベシ

第三條

右特權ヲ有スル伊ナハ民身体及財産上ニ充分ナル保護ノ享有シ其權利ニ関シ告訴人ハ答辯ノ爲メ裁判所ニ出頭シ又諸詞訟ニ付自己ノ意思ニ依リ法律上許ル所ノ代言人ヲ雇用スル等自由タルベシ且又右ニ関シ其在留國ノ人民ニ享有シ又、将来享有スベキ諸權利ハ均シク之ヲ享有スベシ

第四條

伊國人民ノ所有スル家屋舗店工場製造場右
等ニ屬スル諸建築ノ日本國內ニ在ルモノハ都
テ侵凌ス可カラズ且法律ニ照ラシ處多スル
外ハ概リニ右ノ家屋内ヲ搜索シ或ハ檢視スベ
カラズ

第五條

伊國人民ハ日本國內ニ於テ礦山ヲ除クノ外靜産
動産其他 財産ヲ買得シ或ハ賣售シ贈与シ交換
シ遺囑ニ依リ之ヲ贈遺シ若クハ其他ノ諸方法ヲ
以テ自由ニ之ヲ處分スルノ權利ヲ有スヘシ但シ
右ニ関スル日本ノ法律及ヒ地方ノ規則ニ服從ス
ヘシ

第六條

伊國人民日本ニ在リ遺囑證書ヲ遺シ或ハ遺サス
シテ死去スルキハ自國ノ領事(其不在ナルキハ代理)
ハ受托人ヲ撰任スルノ權利ヲ有スヘシ此受托人
其在留國ノ官吏ニ告知シ在留國ノ法律上許ルス
所ノモノハ正當ノ相續人及ヒ債主ノ為ニ死者ノ
財産ヲ他人ノ関涉ヲ受ケス保管スヘシ
若シ相續人又ハ相續ノ權利ヲ有スルモ在留國
ニ住居ヲ有セス或ハ在留國ノ公簿ニ記名ナキモ
ノ若クハ其他ノ理由アリテ右財産ヲ所有スル能
ハサルキハ財産ヲ賣合シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ
之ニ處分スル為ニ受托人ニ一年ノ期限ヲ与
フヘシ

第七條

伊國人民ハ日本ニ於テ海陸兵役公募ノ免除ヲ受
ク、シ又國民一般ニ賦課スル非常ノ軍需ノ外特
殊ナル國情ノ殊永非常ノ賦稅等ヲ免ル、シ且法
律ニ照シ日本國民ノ現ニ納付シ又ハ後未納付ス
ハキモノヨリ超過スル所ノ尋常稅額軍需其他ノ
諸費ヲ事故ニ托シテ納付セシムルヲアル可カラ
ス

